

特 集

ラパ胆を極める！

胆嚢摘出術ほど難度がばらつく術式も少ないであろう。ブラ胆といわれるようなものから、高度に萎縮してがちがちになっているものまで様々である。それを一つの疾患にとらえ画一的なアプローチを行うと、危険な副損傷を招く。それゆえ術者としては、腹腔鏡下胆摘から開腹まで様々なバリエーションを知っておく必要がある。本特集では、安全かつ低侵襲な胆摘についてエキスパートの先生方に詳述していただいた。